離任・退職された先生方からのメッセージ

飯星　健司　副校長

五中には、今の３年生と一緒に入って来て、２年間を過ごしました。最初の２か月は登校できず、静かな学校でさみしく思っていましたが、６月から分散登校が始まり、少しずつ生徒の声が聞こえるようになりました。皆さんが毎日登校するようになるとやはり生徒が多いなと感じていました。

この２年間で行えた行事は少なかったですが、運動会や五中フェスティバル、プロから学ぶ会など、保護者の方や地域の方に多くの御支援と御協力をいただき行うことができました。五中は保護者・地域の方々に支えてもらえるとても素晴らしい学校です。ですから、この五中を誇りに思い、これからも過ごしてほしいと思います。

今年度もコロナの影響で行事が全てできるか分かりませんが、できる中で精一杯のことをやってみてください。そこから何かを学ぶことができると思います。

皆さんの活躍に期待しています。

２年間ありがとうございました。

飛永　直子 主幹教諭（音楽）

五中生のみなさんお元気でしょうか。私は３月までの生活とは違い、初めて会う方々とともに、新しい職場の流れにのることに大変不安な思いをもっていました。五中のように地域の方々に支えられている学校を目指して準備していく中で、五中の素晴らしさを再確認するとともに、目標にしていこうと改めて思いました。

目標とする１つめは、「ありがとうウィーク」です。仕事をしてもらったときに些細なことでも「よろしくお願いします」「ありがとうございました」の声を掛け合うようにしました。すると皆笑顔になります。不思議ですね。２つめはトイレを丁寧に使うことです。中学校でこんなに明るくきれいなトイレは多くはありません。ずっと大事に使ってください。３つめは五中のように地域の人たちと支え合っていける学校にしていくことです。保護者の皆様にも防犯パトロールや学校行事の受付など多くの方々に学校に関わっていただきました。ありがとうございました。

最後になりますが、新しいクラスになり、新たな出会いがあったと思います。この出会いを大切にして充実した学校生活を楽しんでください。

舘野　眞一　主任教諭（数学）

２・３年生のみなさん。久しぶりです。１年生のみなさん初めまして。この五中で４３年間の教師生活を無事に終えることができました。４月からは、５０年前に卒業した自分の母校のあきる野市立五日市中学校の職員室で働くことになりました。３月の修了式の日に面接試験だったので、五中の先生にも生徒にも連絡することができませんでした。

１１年間五中に勤めていましたが、五中のイメージは、行事を造り上げていく、行事を自分たちのものにする、行事に燃え団結するすごいパワーのある学校だと思いました。

部活動も盛んで、表彰の数もすごかったです。最近はコロナ禍で行事も部活も盛り上がりきれない場面がありますが頑張ってください。

最後に先生として、みんなにアドバイスをしたいと思います。長年生きてきて、勉強はとても大切だし、できると得することがたくさんあります。勉強のチャンスはたくさんあります。分からなくなったときは、諦めてはいけません。友達や先生に質問して分からないままにしないことが大切です。それには普段から友達や先生と仲良くしておくといいでしょう。先生方は、分かろうと頑張って質問する人が大好きです。遠慮せず質問しましょう。また、単元が変わったときは、諦めかけた人のやり直すチャンスです。やさしい内容から始まるので頑張りましょう。

部活動を頑張ろうとしている人には、うまくなる選手の話をしましょう。コーチや先生の指示を聞いてその内容を実行しているだけではダメです。自分の目標の選手のまねをしたり、身近な先輩に教えてもらったりして、自分から練習してみましょう。自分が納得できるように練習することが大切だと思います。

長くなりましたが、４３年間の教師生活に悔いはありません。長い間ありがとうございました。

高橋　忍　教諭（技術）

１年生のみなさん、御入学おめでとうございます。もう、中学校にはなれましたか？２、３年生のみなさん、お久しぶりです。新しい学年になっての中学校生活はいかがでしょうか。

五中を思い浮かべてみると、改めて五中の良かったなと思うことがあります。「先生と生徒の距離が近い」ということです。五中生は良くも悪くも自分の思いを丸出しでぶつけてくることが多かったように思います。それに加えて、そのような皆さんの思いを受け止め、応えてくれる先生方が多かったように思います。忙しい中でも、生徒のみなさんにとても関わってくださるということです。五中は、そのような先生がたくさんいらっしゃる学校です。五中生の皆さんは、自分の考えや気になったことは、そのまま先生に伝え、また、そんな先生方への感謝を忘れず、正しい言葉遣いで、先生方との良い関係をこれからも築いてもらいたいと思います。

またどこかでお会いすることもあるかもしれません。そのときに、成長した姿を見せてもらえるとうれしく思います。ではみなさん、これからも健康に気を付けて、頑張ってください。